

平成27年度入学試験問題（後期）

小論文

（ 医学部保健学科 放射線技術科学専攻 ）

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙と下書き用紙を別に配付してあるので確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答用紙の一つのます目に一文字ずつ入れること。
6. 解答用紙の指定された欄に、学部名及び受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

(後期日程／医学部 保健学科 放射線技術科学専攻)

## 問題

地球上の生物はあまねく放射能及び放射線の影響を強く受けて進化して来た歴史を持ち、地球が存在する限りこの状況は変わらない。現代では、自然放射能、放射線に加え、人工放射能、放射線が作られ利用されている。最近では、さらに、放射能・放射線の管理、運用及び可能なら制御が強く求められて来ている。

このような状況下、現代科学は今後、放射能・放射線とどのように向き合う、または寄り添うべきか、具体的知見を交えて述べなさい。

(制限字数：800字)